

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	PARCウィル交野			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日 ～ 2025年 3月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	2名
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2025年 4月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	20名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	他職種の連携による専門的な介入の実施	ご家族にニーズに合わせてそれぞれの専門職が介入できるように配置スタッフの調整や意見交換を行い、専門性を発揮できるようにしている。	専門職間でのやり取りを密に行い、すべてのスタッフが統一したケアを実施できるようにマニュアル等の作成を進めている。
2	広い療育空間のある環境	療育スペースを広く確保していることで活動の幅が広がり、室内にいても様々な取り組みを行うことができる。	室内遊具や運動器具などの補充を行い、より充実した環境を整えようとしている。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	それぞれのお子さんとの関係性がまだ十分でない。	開所からの日が浅いため、子どもたちの特性や好きなこと、苦手なことなどの把握が十分にできていない。	1回1回の利用における関わりを大切にし、保護者と密に連携しながら関係性を築いていく。
2	スタッフが他事業所との兼務のため、密な関係を築くのに時間がかかる。	他事業所間でスタッフの行き来があるため、関われる時間に限りがある。	スタッフ一人一人の関わりの時間を確保するには時間をかけるしかないが、兼務することでより多くの視点が得られるため、長期的に見るとメリットはあると考えられる。
3			